

栢豪洋前教授が名誉教授に

7月27日に執り行われた学校法人福岡学園開学記念式典において、栢豪洋 歯周病学分野 前教授に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。

栢氏は昭和51年4月から福岡歯科大学助教授、昭和53年4月から教授として歯科保存学を担当し、学生部長を歴任。平成10年から学校法人福岡学園理事、平成14年より福岡医療短期大学長を務められ、約41年間、学園の発展に尽力されました。



日本骨代謝学会で進 正史講師が優秀演題賞を受賞

7月27日～29日、ホテル日航福岡(福岡市)で開催された第35回日本骨代謝学会学術集会において、福岡歯科大学の進 正史講師(細胞生理学分野)が、優秀演題賞を受賞しました。

同賞は、同学術集会において発表された211演題から、最優秀5演題に授与されるもので、進講師はその中で最高評価を受け、歯学テーマでは初めてのトップ受賞となりました。



左より本学細胞生理学分野 岡部教授、進講師

研究課題

TRPM7の
キナーゼドメインを介した
エナメル質形成制御

スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラムに本学学生が参加

8月18日、平成29年度日本歯科医師会/デンツプライシロナスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(以下、SCRIP)日本代表選抜大会が歯科医師会館(東京都千代田区)にて開催され、福岡歯科大学を代表して土持那菜子さん(第5学年)が参加しました。

このSCRIPは、歯学部学生の研究意欲の向上や歯科医療の発展を担う歯学部学生の育成を目的とし、世界39カ国の歯科医師会主催で毎年実施されている英語による研究発表会で、優勝者は米国で行われる国際大会に出場します。

土持さんは研究テーマ「Contribution of autophagy to therapy resistance in oral squamous cell carcinoma」について発表し、上位入賞とはなりませんでしたが、全国の歯学部学生と交流を深めました。

